

事務事業名	消防団消防ポンプ車更新事業			担当	市民生活部 安全安心課 消防防災係		
政策名	D	自然と潤いがある安全快適なまちづくり			電話番号	0285-83-8396	
施策名	8	消防・防災対策の充実強化			<input type="checkbox"/> 実施計画上の主要事業		
基本事業名				事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ		
法令根拠					<input type="checkbox"/> 単年度繰返（開始年度 年度～）		
予算科目	1.一般会計	9.消防費	1消防費	3消防施設費	<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度（ 15 年度～ 24 年度）		
事業概要	真岡市消防団の消防ポンプ車は、計24台（旧真岡市14台、旧二宮町10台）配備され、火災の際には消防署との連携により消火活動をおこなっているが、現在老朽化が進んでおり、消火活動に支障のないよう、車両整備計画に基づき、平成15年度より毎年2台ずつ更新をしている。平成21年度をもって旧真岡市消防団の14車両更新は完了、平成24年度をもって旧二宮町消防団の10車両更新は完了した。消防ポンプ車は、耐用年数2.0年と考えているので、平成3.5年から再度更新を予定している。						

1. 現状把握の部 (1) 事務事業の目的と指標

①手段（主な活動） 26年度実績 休止中 27年度計画	⑤活動指標（事務事業の活動量を表す指標）の推移						
	名称	単位	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(見込)
	ア：消防団ポンプ車更新台数（旧真岡）						
	イ：消防団ポンプ車更新台数（旧二宮）		2	1			
	ウ エ オ						
②対象（誰、何を対象にしているのか）*人や自然資源等 消防団消防ポンプ車。	⑥対象指標（対象の大きさを表す指標）の推移						
	名称	単位	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(見込)
	ア：消防団ポンプ車の数（旧真岡）		14	14			
	イ：消防団ポンプ車の数（旧二宮）		10	10			
	ウ エ オ						
③意図（この事業によって、対象をどう変えるのか） 最新の消防ポンプ車の導入による地域消防力の向上。	⑦成果指標（対象における意図された対象の程度）の推移						
	名称	単位	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(見込)
	ア：当該年度の達成割合		100	100			
	イ：消防ポンプ車の更新割合		95.8	100			
	ウ エ オ						
④結果（どんな結果（上位施策）に結びつけるのか） 住民が安心できる安全で住み良いまちづくり。	⑧上位成果指標（結果の達成度を表す指標）の推移						
	名称	単位	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(見込)
	ア：安全安心なまちと感じる市民の割合		69.7	66.1			
	イ ウ エ オ						

(2) 総事業費の推移		単位	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(見込)
投入量	事業費	財源内訳					
		国庫支出金	千円	0	0	0	0
		県支出金	千円	0	0	0	0
		地方債	千円	20,200	11,600	0	0
		その他	千円	0	0	0	0
		一般財源	千円	1,168	790	0	0
	事業費計(A)		千円	21,368	12,390	0	0
	人件費	正規職員従事人数	人	2	2	0	0
		延べ業務時間	時間	60	60	0	0
		人件費計(B)	千円	255	252	0	0
トータルコスト(A)+(B)		千円	21,623	12,642	0	0	

(3) 事務事業の環境変化・市民意見等	
①この事務事業を開始したきっかけは何か？ いつごろどんな経緯で開始されたのか？	消防団消防ポンプ車の老朽化に伴い、車両を更新するものである。（導入後20年経過車両を更新するもの。）
②事務事業を取り巻く状況（対象者や根拠法令等）はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？	平成16年度までは、消防設備整備費国庫補助の対象として補助を受けることができたが、国の三位一体改革により、平成17年度より消防団の消防ポンプ車は対象外となった。車両の老朽化により、エンジンの出力低下をはじめ、車体の腐食、真空ポンプの劣化等がみられるなど、通常必要とされる以上の点検整備が要求されている。
③この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者等）からどんな意見や要望が寄せられているか？	

2. 1次評価の部 *原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 ・この事務事業の目的は、市の政策体系に結びつくか？ ・意図することが結果(上位施策)に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 消防団ポンプ車両の更新は、真岡市の消防力の維持強化につながり、安全で住み良いまちづくりにつながる。
	②公共関与の妥当性 ・なぜこの事務事業を市が行わなければならないのか？ ・税金を投入して達成する目的か？	<input type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 消防力の維持強化は市の責務である。
	③対象と意図の妥当性 ・対象を限定・追加すべきか？ ・意図を限定・拡充すべきか？	<input type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 対象を見直す必要がある <input type="checkbox"/> 意図を見直す必要がある 真岡市の消防力の維持強化のためには老朽化した消防ポンプ車の計画的更新は必要不可欠である。
有効性 評価	④成果の向上余地 ・成果を向上させる余地はあるか？ ・成果の現状水準とあるべき水準の差異はないか？ ・何が原因で成果向上が期待できないのか？	<input type="checkbox"/> 向上余地はない <input type="checkbox"/> 向上余地がある 真岡市の消防力の維持強化のため、計画的に消防ポンプ車を更新している。
	⑤廃止・休止の成果への影響 ・事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？	<input type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない
	⑥類似事業との統合や連携の可能性 ・他に、類似の形態の事務事業はないか？	<input type="checkbox"/> 類似事業がある(類似の事務事業名を記載) <input type="checkbox"/> 類似事業はない
	・類似事業がある場合、その事業と統合したり連携を図ることができるか？	<input type="checkbox"/> 他の事業と統合・連携ができる <input type="checkbox"/> 他の事業と統合・連携できない 統廃合できる類似事業はない。
効率性 評価	⑦事業費の削減余地 ・成果を下げずに事業費を削減できないか？ (仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある 消防ポンプ車更新に必要な事業費である。
	⑧人件費(延べ業務時間)の削減余地 ・やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？ ・成果を下げずにより正社員以外の職員や委託でできないか (アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある 人件費は必要最低限である。
公平性 評価	⑨受益機会・費用負担の適正化余地 ・事業の内容が一部の受益者に偏って不公平ではないか？ ・受益者負担が公正・公平になっているか？	<input type="checkbox"/> 公正・公平である <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 受益者負担はない。

3. 改革・改善方向の部

(1) 改革の方向性(改革案・実行計画) <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 見直し(<input type="checkbox"/> :目的妥当性 <input type="checkbox"/> :有効性 <input type="checkbox"/> :効率性 <input type="checkbox"/> :公平性) <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 継続	(3) 改革・改善による期待成果 <table border="1"> <tr> <td></td> <td></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
			コスト																					
		削減	維持	増加																				
成果	向上																							
	維持																							
	低下																							
(2) 改革、改善を実現する上で克服すべき課題は何か？それをどう克服していくか？																								

4. 事務事業の2次評価結果(事業の総括と事業の方向性)

(1) 1次評価結果の客観性と出来具合 <input type="checkbox"/> 記述説明不足(説明責任不充分) <input type="checkbox"/> 評価内容が客観性を欠く <input type="checkbox"/> 評価内容は客観的と言える	(5) 改革・改善による期待成果 <table border="1"> <tr> <td></td> <td></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
			コスト																					
			削減	維持	増加																			
成果	向上																							
	維持																							
	低下																							
(2) 2次評価者としての評価結果 ①目的妥当性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																								
(3) 2次評価者として判断した今後の事業の方向性 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的絞込み <input type="checkbox"/> 目的拡充 <input type="checkbox"/> 事業統廃合 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 <input type="checkbox"/> 予算削減 <input type="checkbox"/> 予算増大 <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	(4) その他2次評価会議で指摘された事項																							